

2012年9月1日

京都部各ワイズメンズクラブ 会長 殿

京都YMCA  
本部事務局長 加藤俊明

前略 各クラブの皆様には平素より京都YMCAの諸活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、昨年に引き続きスペシャルオリンピックス（SO）のトーチウォークのお願いをさせていただきます。

ご存知のように知的発達障がいを持った方々のスポーツプログラムスペシャルオリンピックス（SO）は、京都での設立にあたり京都のワイズが深く関わり、現在もワイズのメンバーがボランティアとして協力しています。その関係もあり京都のSOの事務所は三条のYMCA4階のボランティア室に置かれています。

そのスペシャルオリンピックス日本・京都（SON・京都）ではSOの活動を知ってもらい活動資金を得るために、10月21日（日）に京都府立植物園前をスタートし聖火（トーチ）をリレーしながら鴨川の兩岸を北大路橋から三条大橋まで歩き、最後は御池中学で終わるコースをプログラム参加者（アスリート）と共にアピールして歩く「鴨川チャリティトーチウォーク」というイベントを行います。

橋ごとでトーチをリレーするアスリートと一緒に歩く団体として京都青年会議所、京都商工会議所、茶道裏千家淡交会、京都ロータリークラブ、京都ライオンズクラブ、ボーイスカウト京都連盟、ガールスカウト日本連盟、京都サンガ後援会、国際ソロブチミスト京都と京都YMCAが担当することになっています。

例年各グループは、参加人数も多く目立っているのですが、京都YMCAは、これまで参加者がほとんどなくさびしい限りでした。ここ数年は、参加の呼びかけにに応じていただき15名前後の方に一緒に歩いていただいております。

設立の経緯から言ってもワイズメンズクラブがもっと大勢参加してその存在感をアピールしていただくのが一番良いと思っているのですが、秋は日程等の関係でなかなか集まらないのが現状です。しかし京都部の各クラブで2人ずつ出していただいても30名の大きなグループとなり各クラブのトレーナーやジャケット、等を着た多くのワイズが集まって共に歩けばワイズメンズクラブの大きなアピールになるのではないかと思います。なおこのイベントには例年は山田京都府知事が一緒に参加し、門川京都市長も閉会式で挨拶するほど大きなイベントになっております。各クラブとしてもYMCAを通してワイズメンの活動をアピールする機会と捉えていただき、この「鴨川チャリティトーチウォーク」に参加する方を1人でも2人でも出していただければ幸いです。何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

日 時：10月21日（日）

午前10時40分 北山橋スタート 12時ごろ 京都市立御池中学到着予定

集 合： 北大路橋東側（午前10時）

京都YMCA担当区間： 北大路橋東側（10時40分）から出雲路橋（11時5分）の間

（この間だけ歩いていただいても構いません。）

ご協力いただけるクラブは、恐れ入りますが10月13日までに本部加藤まで参加者をご連絡お願いします。集合時間場所等の詳細は、後ほど連絡させていただきます。

# スペシャルオリンピックス日本・京都

## 鴨川チャリティートーチウォークについて

### 1、スペシャルオリンピックスとは

まず、スペシャルオリンピックスの活動について説明しますこの活動は、1962年ケネディ大統領の妹のユニス・ケネディ・シュライバー婦人が自宅の庭を開放し知的発達障害を持った人たちのデイキャンプが始まりです。その後それらの人びとにスポーツプログラムを通じて楽しむ機会を与え、社会参加や、仲間を作る活動として世界中に広まってゆきました。そして1988年国際オリンピック委員会からオリンピックの名称を正式に使用することを認められました。現在180カ国が加盟し、250万人のアスリート（競技参加者）70万人を超えるボランティアが関わる世界的なプログラムとなっています。オリンピックと同じように4年ごとに世界大会（夏季・冬季）が開かれ多くの競技が行われています。

### 2、SO(スペシャルオリンピックス)日本・京都について

スペシャルオリンピックスの日本での始まりは、1980年に「スペシャルオリンピックス日本」が創立されました。京都では、1966年に地区組織としてスペシャルオリンピックス日本・京都が設立され今年で創立15周年となりました。その発足には、京都のワイズメンズクラブのメンバーも多く関わり組織作りやプログラム運営に大きな働きをしてきました。現在京都では12の種目が多くのボランティアの協力を得て行われております。

スペシャルオリンピックスはその名前にオリンピックが使われているように4年に一度世界大会が開かれており、その選手を送り出すためにその前年に国内大会が行われています。また地域間の交流大会も行われており、それらの費用は全て会費及び寄附金でもって運営されています。なお現在SO日本・京都の事務所は、京都YMCA三条本館4階のボランティアルームに置かれています。（京都以外では、SO日本・東京、SO日本・神奈川の地区事務所がそれぞれYMCA会館内に置かれています）

### 3、鴨川チャリティートーチウォークについて

前述しましたようにスペシャルオリンピックスは4年ごとの国際大会その前年の国内大会それぞれが夏季大会、冬季大会とありますので毎年アスリート（競技参加者）を派遣しなくてはなりません。その為に費用がかかります。（当然参加者の自己負担もありますが、ボランティアや役員の派遣や大会参加費用がかかります）そこで、それらの費用を得るために多くの企業や個人に寄付をお願いしています。

その一つとして京都では、オリンピックでおこなうトーチ（聖火）リレーを行い、参加団体に費用を出してもらいイベントを行って費用を集めています。そこでスペシャルオリンピックスの活動を市民に知ってもらい意味もあり鴨川の両岸を北山橋から二条大橋まで、橋ごとに聖火をリレーし最後は御池中学まで全員で歩きます。トーチをリレーするのはアスリートですが、それを各団体がサポートする形でアスリートと一緒に歩きます。京都YMCAは、その協力団体として参加しています。

### 4、協賛金のお願い

なお、トーチウォークに参加に当たり費用はいりませんが、SOの活動支援のために各クラブにおかれましては、可能ならSOへの協賛金をご協力いただければと思います。

京都YMCA本部事務局長 加藤俊明